

令和7年度 県立特別支援学校(知的障害)教育課程表

高等部 本科 普通科 《単一障害学級用》

兵庫県立あわじ特別支援学校

区 分		コ ー ス	Ⅰコース			Ⅱコース		
		学 年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
教科 別の 指導	各 教 科	国 語	70(42)	70(42)	70(42)	(63)	(63)	(63)
		社 会	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)
		数 学	70(21)	70(21)	70(21)	(21)	(21)	(21)
		理 科	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)
		音 楽	35	35	35	35	35	35
		美 術	35	35	35	35	35	35
		保健体育	91	91	91	91	91	91
		職 業*	105(70)	105(70)	105(70)	(119)	(119)	(119)
		家 庭	35(42)	35(42)	35(42)	35(42)	35(42)	35(42)
		(外国語)	—	—	—	—	—	—
		(情報)	—	—	—	—	—	—
道 徳 科		35(35)	35(35)	35(35)	35(35)	35(35)	35(35)	
特別活動	ホームルーム	98	98	98	98	98	98	
自 立 活 動		70(91)	70(91)	70(91)	210(126)	210(126)	210(126)	
各 教 科 等 を 合 わ せ た 指 導 を	遊 び の 指 導	—	—	—	—	—	—	
	日常生活の指導	231	231	231	231	231	231	
	生活単元学習	70	70	70	70	70	70	
	作 業 学 習	70	70	70	175	175	175	
総合的な探究の時間		35	35	35	35	35	35	
年間総授業時数計		1050	1050	1050	1050	1050	1050	
週当たり授業時数		30	30	30	30	30	30	
始業・終業時刻等		始業 8 時 45 分 終業 1 5 時 0 0 分 *水曜日のみ終業 1 4 時 0 5 分						

教育課程編成上の留意点

- ・1単位時間を50分で編成するようにし、小・中・高の教育課程の連続性を意識した。
- ・Ⅰコースは「就労を目指し、自立と社会参加に向けた学習を行う」ことを想定し、Ⅱコースは「自己の特性と向き合いながら、日常生活における生活力の向上」を想定して教育課程を編成した。
- ・道徳教育の一層の推進のため、単独教科として道徳を設定する。
- ・系統的・段階的作業学習に取り組み、外部人材参画の授業検討会及び職員研修や専門家からの助言などをもとに、認定資格(ビルクリーニング、喫茶サービス、物流・品出し、パソコン)を職業に位置づけて実施する。
- ・()は各教科等を合わせて指導する。

※喫茶サービス、ビルクリーニング、物流・品出し及びパソコンの単元を教育課程に適切に位置付け、位置付けた教科等が分かるように教育課程表の各教科等の名称の後に「*」をつけること。

令和7年度 県立特別支援学校（知的障害）教育課程表

高等部 本科 普通科 《重複障害学級用》

兵庫県立あわじ特別支援学校

区 分	コ ー ス	Ⅰコース			Ⅱコース			
	学 年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
教科 別の 指導	各 科	国 語	70(42)	70(42)	70(42)	(63)	(63)	(63)
		社 会	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)
		数 学	70(21)	70(21)	70(21)	(21)	(21)	(21)
		理 科	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)
		音 楽	35	35	35	35	35	35
		美 術	35	35	35	35	35	35
		保健体育	91	91	91	91	91	91
		職 業*	105(70)	105(70)	105(70)	(119)	(119)	(119)
		家 庭	35(42)	35(42)	35(42)	35(42)	35(42)	35(42)
		(外国語)	—	—	—	—	—	—
		(情報)	—	—	—	—	—	—
道 徳 科		35(35)	35(35)	35(35)	35(35)	35(35)	35(35)	
特別活動	98	98	98	98	98	98	98	
自 立 活 動		70(91)	70(91)	70(91)	210(126)	210(126)	210(126)	
各 教科 等を 合わせた 指導を	遊 び の 指 導	—	—	—	—	—	—	
	日常生活の指導	231	231	231	231	231	231	
	生活単元学習	70	70	70	70	70	70	
	作業学習	70	70	70	175	175	175	
総合的な探究の時間		35	35	35	35	35	35	
年間総授業時数計		1050	1050	1050	1050	1050	1050	
週当たり授業時数		30	30	30	30	30	30	
始業・終業時刻等		始業 8 時 45 分			終業 1 5 時 0 0 分			
					*水曜日のみ終業 1 4 時 0 5 分			

教育課程編成上の留意点

- ・1単位時間を50分で編成するようにし、小・中・高の教育課程の連続性を意識した。
- ・Ⅰコースは「就労を目指し、自立と社会参加に向けた学習を行う」ことを想定し、Ⅱコースは「自己の特性と向き合いながら、日常生活における生活力の向上」を想定して教育課程を編成した。
- ・道徳教育の一層の推進のため、単独教科として道徳を設定する。
- ・系統的・段階的作業学習に取り組み、外部人材参画の授業検討会及び職員研修や専門家からの助言などをもとに、認定資格（ビルクリーニング、喫茶サービス、物流・品出し、パソコン）を職業に位置づけて実施する。
- ・（ ）は各教科等を合わせて指導する。

※喫茶サービス、ビルクリーニング、物流・品出し及びパソコンの単元を教育課程に適切に位置付け、位置付けた教科等が分かるように教育課程表の各教科等の名称の後に「*」をつけること。